

様式第3号（第12条関係）

会 議 録

会 議 の 名 称	令和2年度第1回吉川市環境審議会
開 催 日 時	令和2年10月23日（金）午前10時から11時まで
開 催 場 所	吉川市役所 204会議室
出 席 委 員 氏 名	大泉日出男委員、浜本光紹委員、秋元智子委員、柏瀬浩史委員、松井美枝子委員、山崎隆委員、金田桂子委員
欠 席 委 員 氏 名	成尾耕治委員
担 当 課 職 員 職 氏 名	環境課長 岡田啓司、環境課環境保全係長 三城肇 環境課環境保全係主事 小林洵
会 議 次 第 及 び 会 議 の 公 開 又 は 非 公 開 の 別	1 開会 2 部長挨拶 3 議題 (1) 会長・副会長の選出 資料1 (2) 吉川市の環境について 資料2 (3) 環境保全指針の改定について 資料3 (4) その他 4 閉会 すべて公開
非 公 開 の 理 由	なし
傍 聴 者 の 数	1名
会 議 資 料 の 名 称	次第 資料1 吉川市環境審議会委員一覧 資料2 吉川市の環境 資料3 環境保全指針の改定について
会 議 録 の 作 成 方 法	<input type="checkbox"/> 録音テープを使用した全文記録 <input checked="" type="checkbox"/> 録音テープを使用した要点記録 <input type="checkbox"/> 要点記録
会 議 録 確 認 指 定 者	大泉委員、秋元委員
そ の 他 の 必 要 事 項	なし

審議内容（発言者、発言内容、審議経過、決定事項等）	
1 開 会 事務局	<p>————— 《開 会》 —————</p> <p>ただ今より、令和2年度第1回吉川市環境審議会を開会する。</p>
2 部長挨拶 事務局	<p>————— 《部長挨拶》 —————</p> <p>【挨拶及び委嘱書の交付】</p>
3 議 題 事務局	<p>————— 《会議の公開・非公開の決定》 —————</p> <p>本日の会議は全て公開で行う。</p>
事務局	<p>————— 《定足数確認(会議の成立)》 —————</p> <p>吉川市環境保全条例第77条の規定により、定足数である過半数に達しているため、本日の審議会が成立していることを確認した。</p> <p>また、議事の(1)「委員長、副委員長の選出について」に移る前に、委員長が決定していないため、議事の進行は事務局が暫定的に行う。</p>
事務局	<p>————— 《議事審議》 —————</p> <p>(1) 会長・副会長の選出</p> <p>浜本委員が会長、柏瀬委員が副会長で選出。</p>
浜本会長	<p>————— 《署名委員の指名》 —————</p> <p>会議録の署名委員に、大泉委員と秋元委員の二人を指名。</p>
浜本会長	<p>————— 《議事審議》 —————</p> <p>(2) 吉川市の環境について</p> <p>議題について、事務局より説明をいただく。</p>
事務局	<p>【事務局資料説明（略）】</p>
金田委員	<p>質疑</p> <p>小河川水質調査の目的は何か。水質改善の取組を行っているその効果測定か。</p>
事務局	<p>小河川の水質改善に主眼を置いた取組は行っていない。環境保全指針での長期的な目標や、公共下水道への接続率向上による水質変化の観測の為に調査を続けている。環境保全指針策定時の約20年前と比べ水質が改善しているが、公共下水道への接続率の向上によるものである。</p>
秋元委員	<p>典型7公害のうち騒音にはどのような相談が含まれているのか。</p>

	<p>また、合併浄化槽の普及割合によって水質が左右されるが、市内で設置されている浄化槽の単独及び合併の設置基数は。</p>
事務局	<p>工場など事業所からの騒音や飼い犬の鳴き声について相談が寄せられている。</p> <p>平成30年度末現在の数値で、単独浄化槽約2,800基、合併浄化槽が約2,500基となっている。</p>
金田委員	<p>鳥害のうち、繁殖期におけるカラスによる通行人への攻撃について、市としてはどのような対応を行っているのか。</p>
事務局	<p>巣に近づかないように通行人に警告をするようにしている。巣の撤去などが鳥獣保護法の関係で出来ないため、このような対応を行っている。</p> <p>なお、被害の内容・程度によっては市民から依頼を受けた有資格駆除業者に対して、申請に基づき捕獲許可をしている。</p>
金田委員	<p>けが人の発生頻度やけがの程度にもよるが、程度の重いけがが頻発するようならば、市としても対応を検討すべきである。</p> <p>次に、環境学習教室について、以前に受託した環境ネットワークよしかわがアクリルたわしの普及に努めていたが、マイクロプラスチックが発生することから、近年は普及活動を行っていないようである。以前にアクリルたわしが環境にやさしいと学んだ生徒たちに、現在はそうではないとの意見が主流となっている旨を説明すべきである。</p>
事務局	<p>環境学習教室については、今後の活動等について打合せを行う予定である。その中で検討したい。</p>
松井委員	<p>アクリルたわしの普及については、2年以上前から行っていない。</p> <p>自動車騒音については、吉川橋から続く4車線道路も測定対象となっているのか。</p> <p>また、調査時間は。</p>
事務局	<p>測定対象の路線は、道路交通センサスの調査区間が対象となっているため、そちらで対象になっていない路線の測定は行っていない。</p> <p>測定時間は期間内において24時間の測定である。</p>
柏瀬副会長	<p>資料の中の環境保全協定締結事業者一覧のうちすでに閉鎖などにより存在しない事業者がある。こちらについては、市のほうでどのような</p>

	<p>フォローアップをしているのか。</p>
事務局	<p>市では、市民の生活環境保全のため、対象となる事業者と協定の締結をすることに力点を置いている。ご指摘のとおりその後のフォローアップが十分でないとの認識をしており、会社の存否等について調査を始めたところである。</p>
浜本会長	<p>環境保全協定には、立ち入り調査などの項目は含まれているか。</p>
事務局	<p>立ち入り調査や、事業者による測定などについても盛り込まれている。</p>
	<p>————— 《議事審議》 —————</p>
浜本会長	<p>(3) 環境保全指針の改定について 議題について、事務局より説明をいただく。</p>
	<p>【事務局資料説明（略）】</p>
	<p>質疑</p>
秋元委員	<p>資料中の行動計画が環境基本計画、行動プログラムがアクションプランという認識でよいか。 また、総合振興計画の改定についても整合は図るのか。</p>
事務局	<p>その通りである。 次期総合振興計画については、令和2年度、3年度での策定であり、環境保全指針の策定年次と一致している。整合を図りながら策定を進めたい。</p>
金田委員	<p>昨年環境審議会において、現行の環境保全指針の20年間分の評価を行った。それをもとに新たなものを策定するという事か。</p>
事務局	<p>昨年度、環境保全指針の具体的な取り組みの実施状況についてご評価いただいた。今年度の環境保全指針改定作業については、まずは大きな枠組みの部分を策定し、令和3年度に具体的な取り組みである実行プログラムを定めていく予定である。</p>
秋元委員	<p>環境保全指針の下位計画として紐づく個別的な計画の策定予定はあるのか。</p>

事務局	個別の計画が乱立し、わかりづらくなってしまうことを避けるため、環境保全指針の中に考え方を取り込むことを想定している。
金田委員	現行の環境保全指針の3つの基本方針に各施策を紐づけしなおすという作業になるのか。
事務局	事務局としては、現行の3つの基本方針についても見直すことを検討している。詳細な内容については次回以降の環境審議会においてお示しする予定である。
秋元委員	環境保全指針の改定にあたって、市民アンケートなどは実施するのか。
事務局	個別のアンケートを実施する予定はない。毎年行っている市民意識調査の中から環境に関するご意見を抽出している。 また、この先、市民からのご意見をいただく機会としてパブリック・コメントを実施する予定である。
金田委員	市域は広くはないが、地域によって環境が全く異なるので、そういった部分にも考慮して策定をしてほしい。
柏瀬副会長	時代の変化が目まぐるしい。実行プログラムの計画期間が5年となっているが、対応しきれぬのか。2年程度で新たな視点などを付け加えることはできるのか。
事務局	P D C Aサイクルを回す中で対応していくが、必要なものがあれば適宜追加していくようになる。
浜本会長	次回改定後の環境保全指針の素案が事務局より示され、審議をしていくということか。
事務局	その通りである。
浜本会長	<p style="text-align: center;">————— 《議事審議》 —————</p> <p>(4) その他 議題について、事務局より説明をいただく。</p> <p style="text-align: center;">【事務局報告】 ・エネルギービジョンの策定について</p>

<p>4 閉 会 事務局</p>	<p style="text-align: center;">・次回開催について</p> <p>質疑 質疑なし</p> <p style="text-align: center;">————— 《閉 会》 —————</p> <p>以上で本日の審議会の内容はすべて終了した。これをもって、令和2度第1回吉川市環境審議会を閉会する。</p>
<p>以上、会議の内容に相違ないことを証するため、ここに署名する。</p> <p>令和2年11月15日</p> <p>署名委員 大泉 日出男（自署） 署名委員 秋元 智子（自署）</p>	